

# 高知憲法速報

199 2009.5.29

発行：高知憲法会議事務局 088-872-3406

編集人 事務局 徳弘嘉孝

## アフリカに自衛隊の陸海空統合部隊派遣

「海賊対処派兵新法案」は、5月27日参議院本会議で趣旨説明と質疑が行われ、参議院での審議が始まりました。衆議院ではわずか6日間の審議で強行したこの法案は、ソマリア沖の海賊対処を口実に世界のどの公海にも自衛隊を派兵できる恒久法です。政府与党は早期成立をめざしながら、6月3日までの会期を延長し、3分の2条項を使ってでも成立させる構えです。

5月15日浜田靖一防衛大臣は自衛隊司令官に対して、3月に派遣した護衛艦2隻に続き、あらたにP3C哨戒機2機により「海賊対処航空隊」を編成して、警戒監視・情報収集を行うよう、海上警備行動に基づく派遣命令を出しました。同時に、航空自衛隊に対して、空輸隊を編成して物資などの航空輸送を行うように命じました。活動場所は、紅海、アデン湾に面してソマリアに接するジブチ共和国です。

「海賊対処航空隊」は、海上自衛隊第4航空群（神奈川県厚木市）第3航空編隊約100人とP3C哨戒機2機。それに加えて航空機の警護と基地業務を行うために陸上自衛隊中央即応連隊（栃木県宇都宮市）の約50人が派遣され、統合任務部隊となります。

P3Cは元々ソ連の潜水艦を見つけ出すために、アメリカに100基規模で購入させられた対潜哨戒機ですが、爆弾やミサイル、魚雷などの攻撃兵器も搭載可能で、警戒監視活動のみに使われるわけではありません。今回初の海外派遣となりました。

陸自中央即応連隊は、ゲリラ戦にも対応できる海外派兵の機動運用部隊として結成され、初めての海外活動として、哨戒機の拠点となるジブチ国際空港での警護が主な任務となります。

新たに派遣される部隊の総勢は150人規模ですが、これまで既にアデン湾に護衛艦2隻（約400人）と、インド洋に「対テロ」戦争への給油支援のため護衛艦、補給艦（約330人）が派兵されています。ソマリア周辺に1000人規模の自衛隊が展開して、「国益」の名のもとに活動することは極めて危険です。実質的な米軍

支援となる可能性も強く、海外での武力行使に大きく道を開くものとなっています。憲法9条を持つ日本がやるべきことは、内戦で荒廃したソマリアの復興を支援するとともに、ソマリア周辺の国々の沿岸警備能力向上のための援助であるべきです。

## 「針木9条の会」結成 5月26日

高知市針木地区に9条の会が発足しました。5月26日10人が集まって役員や申し合わせ事項を確認し、早速「ニュース」第1号も発行されています。代表は松本高子さん。7月4日、64年目の高知空襲の日には「戦争体験者のお話を聞く会」を計画、バザーやナシ園での昼食会、山菜採りなども企画しています。高知県下の9条の会はこれで50になりました。これまで一つカウントがぬかっていた団体があり、今回の針木が50番目となります。

## 5月29日現在 高知県下の9条の会 50組織

地域組織 35組織；すくも、おおつき、とさしみず、三崎、なかむら、にしとさ、十和、大方、佐賀、くぼかわ、須崎、土佐市、佐川・越知・日高、いの、はるの、小高坂、福井、かもだ、あさくら、針木、秦西、うしおえ、ながはま、瀬戸、三里、一宮東・布師田、一宮・薊野、介良、れいほく、南国市、香美市、野市、芸西、安芸市、中芸

職種別・職場などの組織 13組織；生協高知平和憲法9条を考える会、建交労九条の会、高知医療生協職員9条の会、福祉保育労働者9条と25条の会、自営業者九条の会、中村国公九条の会、美術家九条を守る会、俳句を愛するこうち九条の会、学校九条の会（4組織）、つくし九条の会

全県組織 2組織；こうち九条の会、女性九条の会高知

## 憲法会議街頭の宣伝署名行動 次は6月19日

憲法会議次回は6月19日（金）午後5時30分からグリーンロードで行います。月1回としました。何とか都合をつけて多数ご参加ください。

九条の会署名宣伝行動 次回は6月6日（土）4時～5時講演会と重なるので時間を後ろにずらします。

6月20日（土）はいつものように1:30～2:30  
いずれもグリーンロードで行います